

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

| 分野 | 景気の先行き判断 | 業種・職種 | 景気の先行きに対する判断理由 |
|----------------------------|---------------|--|---|
| 家計 動向 関連 (沖縄) | ◎ | 観光型ホテル（企画担当） | ・10月の販売室数は前年比22%増加に対して、10月末時点での1月の予約室数は前年比35%増加と、プラス幅が大きくなっている。 |
| | ○ | 百貨店（経営担当） | ・店内のイベントや催事などで来客数が増加するとみている。 |
| | ○ | コンビニ（経営者） | ・週末、祝日にイベントが多くなるため、来客数の増加が期待できる。 |
| | ○ | その他専門店〔陶器〕（製造） | ・年末年始に向けて忙しくなるとみている。 |
| | ○ | 一般レストラン（代表者） | ・年末に向けて来客数が増加するとみている。 |
| | □ | 商店街（代表者） | ・現在、飲食店が増加しており、飲食を目的とした来客数は増加している。しかし、小売は、売上につながっていないため、大変危惧している。良くなることを期待している。 |
| | □ | 一般小売店〔酒〕（店長） | ・全ての商品の物価が上昇していることから、買い控えや観光客が減少しないか不安視している。 |
| | □ | スーパー（企画担当） | ・国によるガソリンなどに対する補助金が年内支援継続と発表されたが、いつまで補助が続くのか分からないことから、今後2～3か月先の身の回りの景気は今月と変わらないとみられる。 |
| | □ | コンビニ（店長） | ・新型コロナウイルス感染症発生前の来客数に戻り、観光客の増加はあるが、現時点から2～3か月後に更に変化はないとみている。 |
| | □ | コンビニ（経営企画担当） | ・観光客は引き続き好調に推移するとみている。しかし、増加の主体は外国人にシフトして、国内観光客の伸びは一服した。足元では値上げが続いており、積極的な消費は控える傾向になっていくことを不安視している。 |
| | □ | 衣料品専門店（経営者） | ・今月は例年と比べて気候が暑い日が続いており、季節商材の売上が悪い状態である。現在では、まだ景気が良くなる様子はみられない。 |
| | □ | 衣料品専門店（経営者） | ・物価高にもかかわらず、所得は横ばいのみであるため、財布のひもは固くなるとみている。 |
| | □ | 乗用車販売店（経理担当） | ・受注の動きが鈍いことを不安視している。 |
| | □ | その他飲食店〔バー〕（経営者） | ・良くなる要素が見当たらない。今までのやり方を変えて対応していく必要があるとみている。 |
| | □ | その他サービス〔レンタカー〕（営業） | ・売上及び先行きの受注は前年を上回っており、外的な要因がない限りこの傾向は続いていくとみている。 |
| | □ | 住宅販売会社（役員） | ・住宅ローンの金利も上昇局面にあるが、まだ低金利が続いているため購買意欲は変わらないとみている。 |
| | □ | 住宅販売会社（取締役） | ・現状からは大きな変化はないが、賃上げも限界があり、今後の税制や社会保険の負担率などが増加すると、手元に残る資金が減少することから、需要見通しは暗いとみている。 |
| | ▲ | コンビニ（副店長） | ・現時点で更なる景気回復要素が見当たらない。年末に向け売上を伸ばしたいところだが、103万円の年収の壁による人材確保の厳しさと、雇用主の負担を考えると、大変厳しい。 |
| | ▲ | 家電量販店（営業担当） | ・エアコン、白物家電などは比較的好調だがパソコン、テレビが前年割れしている。例年であればこれらの月間の指数は高くなるが、下期は全体値を押し下げるとみている。 |
| | ▲ | 観光型ホテル（代表取締役） | ・人手不足の影響で、通常の営業ができない。 |
| ▲ | 旅行代理店（マネージャー） | ・このままの高単価の傾向が続くと、日本人の需要が減少し、インバウンドを中心とした個人客のマーケットとなる。日本人の相手を中心としている旅行会社は経営が厳しくなるとみている。 | |
| × | － | － | |
| 企業 動向 関連 (沖縄) | ◎ | － | － |
| | ○ | 食料品製造業（役員） | ・引き続き沖縄の身の回りの経済活動は堅調に拡大傾向が続くとみている。 |
| | ○ | 窯業土石業（取締役） | ・受注増加に伴い下半期後半は工事が重複していることから、売上が回復するとみている。 |

| | | | |
|------------------|---|----------------|---|
| | □ | 広告代理店（営業担当） | ・県内企業の販売促進活動は、物価や人件費高騰の影響もあり相変わらず消極的である。 |
| | ▲ | — | — |
| | × | — | — |
| 雇用 関連 (沖縄) | ◎ | 学校〔専門学校〕（就職担当） | ・2025年卒は年内までは同様の状況が続くと見込まれる上、2026年卒向けの求人も多く届く時期になる。10月に入り2026年卒に向けての打合せを希望する企業が増えており、軒並み学内説明会への参加を希望している。 |
| | ○ | 求人情報誌製作会社（営業） | ・年未年始に向けて繁忙業界での短期アルバイトは増加するとみている。社員採用やレギュラーアルバイト募集などは大きな変化はないとみているが、例年同様に年明け1月初旬の採用は短期的に増加するとみている。 |
| | □ | 人材派遣会社（総務担当） | ・選挙が終わり、今後の政権の動きでどのような影響が出るのか不透明である。 |
| | □ | 学校〔大学〕（就職支援担当） | ・賃金が上昇したといわれているが、物価高騰が変わらない限り消費行動を抑える生活が続くとみている。 |
| | ▲ | 職業安定所（職員） | ・最低賃金は上昇するものの、物価高の影響で生活が苦しい等の声もある。新規の求人数、求職者数が減少傾向にあることも懸念材料とみている。 |
| | × | — | — |